

おおさか 土地改良広報

153
号

発行：平成31年1月1日



水土里ネット大阪 は
大阪府土地改良事業団体連合会の
愛称です

大阪市平野区瓜破東六丁目1番51号
大阪府土地改良事業団体連合会
TEL：06-6707-1100
FAX：06-6707-1102
<http://www8.ocn.ne.jp/~daidoren/>

新年のご挨拶 若林会長挨拶	1
年頭のご挨拶 大阪府農政室整備課丹後課長挨拶	2
新年を迎えて 進藤参議院議員挨拶	3
「闘う土地改良」-未来への礎を築くために 宮崎全国水土里ネット会長会議顧問挨拶	4
平成30年度 第2回 監事会	5
平成30年度 第2回 理事会	5
第41回 全国土地改良大会（宮城大会）	6
2018オアシス・クリーンアップ・キャンペーン IN いばらき	7
平成30年度多面的機能支払交付金事例研究会	7
平成30年度 換地関係異議紛争処理実務研修会	9
「農業農村整備の集い」に参加 財務省、農林水産省へ要望	9
平成30年度第2回技術実践向上研修会	10
泉南市双子池で「フロート式太陽光発電事業」はじまる	10
世界かんがい施設遺産登録「大和分水築留掛かり」	11
平成30年度財務・会計実践向上研修	11
平成31年度土地改良の予算案について	12
平成30年度第2回支部事務担当者会議	16
支部協議会だより	16
土地改良相談	18
今後の行事予定	18



(泉佐野市)



「新年のご挨拶」

大阪府土地改良事業団体連合会
会長 若林 主治

あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より本会の運営並びに土地改良事業の推進につきまして、多大なご支援とご協力を賜り深く感謝いたします。

また、昨年は「大和川分水築留掛かり」が、カナダで開催された第69回国際かんがい排水委員会の国際執行理事会において、世界かんがい施設遺産に登録されました。大阪府内では狭山池、久米田池に続く登録となり、これまでの先人たちの弛まぬ努力に敬意を表するとともに心よりお祝い申し上げます。

さて、政府は12月21日、総額101兆4,600億円の平成31年度予算案を閣議決定し、農林水産分野は前年度に比べ5.6%増の2兆4,315億円となりました。その内、土地改良予算については、平成30年度補正予算と平成31年度当初予算を併せて総額6,451億円、臨時・特別措置を除いても5,905億円と、前年の5,880億円を大きく超える予算が確保されました。

私は、昨年も財務省並びに農林水産省に何度も要望活動を行い、中でも11月14日には吉川農林水産大臣に直接お会いし、大阪の土地改良の実情を訴えてまいりました。国の予算が増額となり一定の成果はございましたが、会員の皆様のご要望とご期待に十分に応えられるものとはなっておりせん。

そのような中、昨年6月に土地改良区の組織・運営に関する改正土地改良法が成立しました。これにより、地域農業を支える土地改良区の役割は、ますます重要となり、今後の土地改良を巡る情勢変化に、的確に対応する必要があると考えております。

大阪の農業・農空間は、府民に新鮮で安全安心な農産物を供給するだけでなく、災害時の避難場所としての防災機能や子どもたちに対する学習機能など、多面的な機能を有する都市の貴重な財産であり、将来にわたって保全・活用することが求められております。

そのため、都市近郊農地の生産環境整備やため池・水路等の防災減災対策、多面的機能支払い等の予算確保に務めるとともに、大阪の土地改良区の現状を踏まえた、改正土地改良法に基づく土地改良区の運営強化が図れるよう、引き続き、国に対し強く働きかけて参る所存でございますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、大阪の土地改良事業の限りなき発展と、会員の皆様の益々のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



「年頭のご挨拶」

大阪府環境農林水産部 農政室整備課
課長 丹後晋哉

新年あけましておめでとうございます。

大阪府土地改良事業団体連合会の皆様におかれましては、日頃から土地改良施設の維持管理にご尽力されていることに敬意を表しますとともに、農空間整備事業をはじめ、大阪府農政の各般にわたりご協力をいただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、大阪府においては、本格的な人口減少・超高齢社会を迎えています。

農業分野におきましても、今後、農業の担い手が加速的に減少し、より多くの農地が遊休化することが懸念されています。

このような課題に対応し、将来の農空間の保全と活用を図っていくためには、農家と地域住民等が、将来の農地利用のあり方や、担い手の確保、地域活性化策等について話し合い、計画としてとりまとめ、その実現に向けて取り組むことが必要です。

このため、昨年3月に農空間保全地域制度を改正し、これまでの遊休農地を一筆ごとに解消する制度から、地域での話し合いを通じて、計画的に農地利用を進める制度に転換し、取り組みを進めています。

また、昨年は「大阪府北部を震源とする地震」、「平成30年7月豪雨」及び「平成30年台風第21号」により、府域において甚大な被害が発生いたしました。

府としましても、市町村と連携し、被災箇所の早期復旧に取り組んでいるところです。

このような頻発する自然災害に対応するため、引き続き、老朽ため池の改修や耐震診断を計画的に進めるとともに、ハザードマップの作成や低水位管理等、ため池の管理水準の向上など、ハード・ソフト対策を総合的に推進してまいります。

こうした府農政の推進にあたりましては、ため池・水路など農業用施設の適正管理にご尽力頂いております土地改良区、市町村、並びに、これら会員を支援してこられた貴連合会の皆様と、これまで以上に連携を強めていくことが重要であると考えております。

府としましては、大都市大阪の強みを活かしつつ、土地改良事業による活力ある農業、安全・安心な農空間づくりを目指してまいりますので、今後より一層のご協力をお願い申し上げます。

結びに、大阪府土地改良事業団体連合会の益々のご発展を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



「新年を迎えて」

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進 藤 金日子

新年明けましておめでとうございます。昨年は、自然災害が頻発した年でした。被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。平成最後の年となる今年も、「平成」の由来の如く「地平天成」（地平らかにして天なる：国の内外、天地とも平和が達成される）の年になることを強く願いたいと思います。

さて、昨年末に平成30年度第2次補正予算と平成31年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,451億円（30年度補正：1,488億円、31年度当初：4,963億円）を確保することができました。これもひとえに、農業改革の推進に不可欠な土地改良の実施に向けた現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を、政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。予算は、人任せでは確保できない、自ら汗をかき実働して確保する、まさに「闘う土地改良」の成果であると言えます。この貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、何と云っても「国土強靱化」に重点が置かれたことです。重要インフラの緊急点検等を踏まえた「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」

として補正と当初を合わせて1,091億円計上され、制度的にも防災重点ため池整備等で大幅な拡充がなされました。また、ここ2回にわたる土地改良法の大改正を踏まえ、土地改良区の複式簿記の義務化等に対応した土地改良区体制強化事業が整備されるなど、現場の声に即した具体的な対応策も示されました。農業競争力強化関係でも現場の実態に即した要件設定やハードとソフトの連携強化策などが盛り込まれています。今回の予算は、土地改良の原点である現場重視の視点が更に強化されたものとなっています。この貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えていくことが重要です。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫（まさお）さん（全国水土里ネット会長会議顧問）も「土地改良は未来への礎」を訴えて全国各地を精力的に巡回しています。宮崎さんと私が皆様と連携して「闘う土地改良」を共闘できるようにご指導とご支援を心からお願い申し上げます。

本年も引き続き皆様と一緒にあって諸課題の解決に向けて専心努力してまいります覚悟です。本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



「闘う土地改良」 —未来への礎を築くために

全国水土里ネット会長会議
顧問 宮崎 まさお

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、良き年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私は昨年1月に全国水土里ネット会長会議顧問を仰せつかり、この一年間、全国各地で地域の実情や意見をつぶさに拝聴させていただきました。これまでの移動距離は地球5周分の20万kmになりました。

昨年は、西日本豪雨や北海道胆振東部地震をはじめとする地震、台風、さらには噴火など、全国各地で自然災害が相次ぎました。被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願ってやみません。また、被災地の状況をお聞きするたびに、防災・減災対策は一刻の猶予も許されないとの思いを強くしています。

土地改良は、先人が創り上げてきた農地やかんがい排水施設などをそれぞれの時代に応じて整備を行い、次の世代に引き継いでいくシステムです。つまり、土地改良は、現在の農業の発展はもとより、日本の「未来への礎」を築くものであると考えています。

私は、現場でお聞きした様々な課題を解決し、日本のすばらしい農山漁村を「未来への礎」として、子どもや孫たちに引き継いでいくため、「大切な農地と水を守る」「農山漁村を災害から守る」「美しい農山漁村を守る」という3つの目標のもと、これを実現するため、土地改良の安定的な予算確保や災害に強い農山漁村づくりなど、7つのチャレンジに全力で取り組んでいく考えです。

そして、現場と国政の間を、私の好きなテニスのボールのように素早く往復し、現場の声を施策に反映していきたいと考えています。

今年は天皇陛下が御退位され、元号が変わる大きな節目の年です。新しい時代の始まりの年でもあり、土地改良にとっても大きく羽ばたく年にしなければなりません。皆様の土地改良に対する熱い思いと大きな力を、私、宮崎まさおに賜りますようお願いいたします。

むすびに、本年が皆様にとって実り多き年となりますように祈念いたしまして、私の新年のご挨拶といたします。

宮崎まさお7つのチャレンジ

1. 土地改良の安定的な予算確保にチャレンジ
2. 災害に強い農山漁村づくりにチャレンジ
3. 農地や水を守り育てる体制の強化にチャレンジ
4. 自然豊かな美しい農山漁村の継承にチャレンジ
5. 世界に日本の農林水産業と農山漁村のすばらしさの発信にチャレンジ
6. 女性の視点を大切にした農山漁村政策の展開にチャレンジ
7. 農林水産業と農山漁村への国民の理解づくりにチャレンジ

平成30年度

第2回 監事会

日 時：平成30年10月31日(水) 午後2時～
場 所：大阪市瓜破土地改良区 瓜破会館 会議室
議 案：

第1号議案「平成30年9月30日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果の承認について」

第2号議案「平成30年度一般会計収支補正予算の規約第45条に基づく承認について」



本会規約第25条2項に基づく、平成30年度第2回監事会が長野代表監事、長谷川監事、古谷監事出席のもと開催されました。大阪府からは農政室整備課の高橋指導総括主査が立ち会われました。

第1号議案に関し、上半期の事業、会計経理の執行状況等について、一旦監事会を休会し中間監査が行われました。その後、中間監査の結果について審議が行なわれ、事務局から“今後も努力を

重ね、確実な資金計画をたてるよう取組む”ことを述べて、原案通り承認されました。

引き続き、第2号議案についても、事務局の提案通り承認されました。

平成30年度第2回理事会には長谷川監事が出席し報告することになりました。

その他の事項として、事務局より今年度の予算執行見込み等について報告がされました。

平成30年度

第2回 理事会



日 時：平成30年11月7日(水) 午前10時30分～
場 所：大阪市瓜破土地改良区 会議室

議 案：

第1号議案「平成30年9月30日現在の業務執行状況及び会計経理監査の結果報告等について」

第2号議案「平成30年度一般会計収支補正予算規約第45条にもとづく専決処分について」

本会定款第24条に基づく平成30年度第2回理事会が理事本人出席14名、理事本人欠席3名のもと開催されました。大阪府からは農政室整備課塩屋参事、高橋指導総括主査に出席頂きました。

第1号議案について事務局説明の後、長谷川監事の監査報告を受け全員異議無しにより承認されました。続いて、第2号議案の審議に入り、事務局説明の後、原案どおり承認されました。

理事会終了後、磯田理事（大阪市瓜破土地改良区理事長）より大阪市瓜破土地改良区の概要や今日までのあゆみについてお話しいただきました。

第41回 全国土地改良大会（宮城大会）

池宮甚與茂様 全国土地改良事業団体連合会長表彰受賞



平成30年10月16日、第41回全国土地改良大会が宮城県総合運動公園「グランディ・21」に於いて、全国土地改良事業団体連合会と宮城県土地改良事業団体連合会の主催により全国から土地改良関係者が約6,000名集まり、盛大に開催されました。本会からは、80名が参加しました。

式典では開会宣言、国歌斉唱の後、開催県を代表し宮城県土地改良事業団体連合会の伊藤康志会長の挨拶に続き、主催者を代表し全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長の挨拶、村井嘉浩宮城県知事が歓迎のことばを、小里泰弘農林水産副大臣、進藤金日子参議院議員（全国水土里ネット会長会議顧問）などが祝辞を述べた後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰46名の受賞者が紹介されました。

大阪府からは、大阪府土地改良事業団体連合会理事、岸和田市久米田池土地改良区理事長の池宮甚與茂様が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞されました。

功績者表彰式の後、村井嘉浩宮城県知事と農林水産省の室本隆司農村振興局長による基調講演、パネルディスカッションによる基調報告、宮城県の優良事例紹介がありました。

最後に「先人の意志を受け継ぐ「伊達の地」に水土里の絆復興の歩み」に思いを馳せ、魅力ある農業農村の明るい未来を確かなものにしていくため、農業農村の礎である「水・土・里」を健全な姿で次世代に引き継ぐことの大会宣言が行われ、次期開催地岐阜県を紹介、大会旗引継後、閉会挨拶を行い盛会裡に幕を閉じました。



大阪府土地改良事業団体連合会 理事
岸和田市久米田池土地改良区 理事長
池宮 甚與茂 様

2018 オアシス・クリーンアップ・キャンペーン IN いばらき



「オアシス構想」推進の一環として、「ため池をきれいにして都市のオアシスにしよう」を合言葉に、毎年府内全域でオアシス・クリーンアップ・キャンペーンが実施されています。

今年は、10月28日(日)に茨木市若園公園多目的グラウンド及び十丁畷水路において、大阪府ため池総合整備推進協議会・茨木市の主催、大阪府・大阪府土地改良事業団体連合会・淀川右岸まちづくり水路協議会の後援により、茨木市長、大阪府環境農林水産部長が出席して盛大に開催されました。

本会からは青山常務理事が出席しました。



「平成30年度多面的機能支払交付金事例研究会」への参加



農業・農村の多面的機能の発揮の促進に向け、先進的な活動事例の情報を共有し、活動の更なる充実や活動組織間等のネットワーク形成を図ることを目的に、平成30年10月30日(火)、平成30年度多面的機能支払交付金事例研究会が滋賀県「野洲文化ホール」に於いて、農林水産省、近畿農政局、滋賀県、全国水土里ネット多面的機能

支払促進協議会、滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会主催により、全国各地の多面的機能支払交付金の活動組織の構成員、地方公共団体、推進組織担当者等が732名集まり、盛会に開催されました。

大阪府内の活動組織を対象に大阪府並びに関係市を含む20名が参加しました。

平成 30 年度 換地関係異議紛争処理実務研修会



平成 30 年 11 月 1 日 (木)～2 日 (金) の両日、あべのハルカス 25 階会議室において、全国土地改良事業団体連合会主催の「平成 30 年度 換地関係異議紛争処理実務研修会」が、近畿農政局、近畿ブロック管内各府県の職員並びに市町村の職員、土地改良区の役職員、土地改良事業団体連合会の職員の総勢 60 名参加の下開催されました。中央換地センター 浦山所長の主催者挨拶を皮切りに、近畿農政局土地改良管理課 秋田課長、大阪府環境農林水産部農政室整備課 丹後課長、本会 青山常務理事の挨拶の後、農政局鈴木農地集団化推進官と辻野事業指導係長から「換地を取り巻く状況について」報告があり、その後第 1 日目の事例 2 題につき検討を行いました。

翌 2 日目は残る事例 1 例の検討を行い、活潑な意見交換を経て盛会のうちに検討会は終了しました。

「農業農村整備の集い」に参加 財務省、農林水産省へ要望



平成 30 年 11 月 14 日 (水) に、平成 31 年度予算編成時期を迎え、全国の土地改良関係者が一堂に集い、国会議員、農林水産省、財務省などに対し、予算確保の要請を行う「農業農村整備の集い」が、シェーンバッハ・サボーにおいて、全国から多くの関係者が参加し、開催されました。

本会からは、若林会長をはじめ理事や土地改良区役職員 11 名参加し、大阪府から高橋農

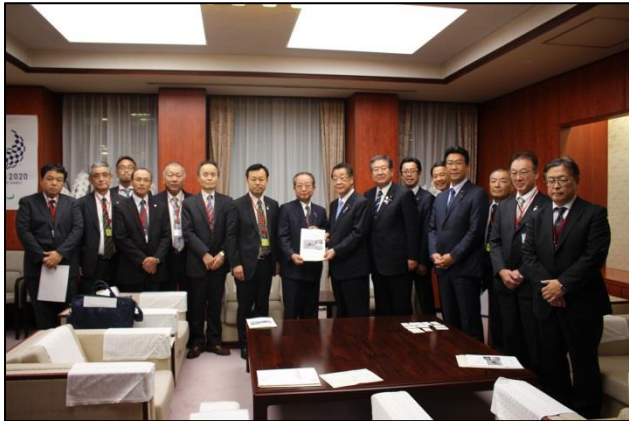
政室長他 2 名の総勢 14 名が参加した。

集いには、二階全土連会長、進藤参議院議員、大阪府選出の 4 名の国会議員など、全国 120 名を超える国会議員が参加され、二階会長の挨拶の後、吉川農林水産大臣が祝辞を述べられ、「現場のニーズに十分対応できるよう平成 31 年度当初予算において概算要求の満額確保及び平成 30 年度補正予算においても十分な予算措置を講ずること」を求める要請書が採択されました。

終了後、大阪府選出の左藤先生・神谷先生・岡下先生・谷川先生のご同行を頂き、本会と大阪府の合同で、吉川農林水産大臣をはじめ、財務省・議員会館へ「農業の成長産業化のための基盤整備や防災減災対策等を推進する所要額を平成31年度当初予算及び平成30年度補正予算の確保」を目的として要望活動を展開しました。



吉川農林水産大臣への要望



吉川農林水産大臣への要望



高野農林水産大臣政務官への要望



農林水産省農村振興局太田次長への要望



財務省主計局森田主計官への要望



神谷衆議院議員への要望



進藤参議院議員への要望

平成30年度 第2回技術実践向上研修会



平成30年度第2回技術実践向上研修会を平成30年11月20日(火)午後1時30分から大阪赤十字会館において、135名参加のもと開催しました。

青山常務理事挨拶の後、「土地改良法の一部改正について」と題し、前半、後半に分けて農林水産省農村振興局 整備部土地改良企画課の村上企画官、近畿農政局 農村振興部土地改良管理課の楠本課長補佐を迎えて、制度の説明をいただきました。

また、説明の後、質疑・応答を行い会員の活発な意見交換がありました。



泉南市双子池で「フロート式太陽光発電事業」はじまる



泉南市の双子池(泉南市男里土地改良区管理)で、フロート式太陽光発電事業(大和リース株式会社が事業主体)の起工式が平成30年11月27日(火)に行われました。出席者は、竹中市長をはじめ、男里土地改良区及び地元関係者の方々でした。本会からは、青山常務理事、梅村参与が出席いたしました。発電設備の完成は、平成31年3月の予定です。発電事業期間は、20年間となっております。



発電設備のパネル発電容量は、2,508kW、太陽光設置パネル枚数8,648枚、年間発電量約2,950,000kWhの規模です。

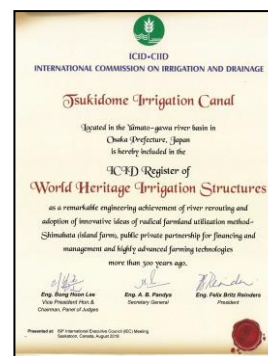
世界かんがい施設遺産登録「大和川分水築留掛かり」



築留土地改良区が管理する「大和川分水築留掛かり」に対し、平成30年11月20日(火)に奈良県日野国際フォーラムに於いて、世界かんがい遺産の登録証及び記念楯の授与式がおこなわれました。土地改良区では、登録を記念して、平成30年12月17日に柏原市の市民文化会館に於いて、田中八尾市長、富宅柏原市長、大阪府農政室の高橋室長をはじめ、

大阪府中部農と緑の総合事務所森田所長及び大阪府の担当職員及び関係土地改良区の役員の参加のもと、祝賀会が行われました。本会からは、若林会長、小谷専務理事、青山常務理事が出席をいたしました。

祝賀会は、中田理事長主催者挨拶に続き、八尾市長、柏原市長、大阪府農政室長、本会会長の祝辞挨拶の後、北井副理事長の乾杯の発声のもと、盛会に行われました。



平成30年度 財務・会計実践向上研修の開催



平成30年6月に公布されました土地改良法の一部改正により、土地改良区の決算関係書類として、平成34事業年度から現行の収支決算書に加え原則として貸借対照表の作成が義務づけられました。

複式簿記導入の必要性が高まっていることから、複式簿記会計ソフトの活用について土地改良区等を対象に、平成30年12月20

日(木)にあべのハルカス貸会議室25階E会議室において平成30年度 財務・会計実践向上研修を行いました。

今回の研修では、農林水産省の定める現行の「土地改良区会計基準」に対応しているソフト会社3社((株)NID・MI、ADK富士システム(株)、ソリマチ(株))のうちスケジュールの関係上2社により、「水土里ネット会計」ソフトについては(株)NID・MIの浅野 営業担当課長から、「ミラウド会計」ソフトについてはADK富士システム(株)の佐々木 部長補佐から、それぞれのソフトを活用した仕訳業務・決算業務等について説明が行われました。

市町村、土地改良区等106名の参加をいただき、活発な質疑応答がなされました。

平成31年度土地改良の予算案について

平成31年度 農林水産関係予算の骨子

総括表

区 分	30年度 予算額	31年度概算決定額			30年度補正追加額		C + D + E
		「臨時・特別の措置」を含まない A	「臨時・特別の措置」 B	概算決定額 C = A + B	1次補正 D	2次補正 E	
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円
農林水産予算総額	23,021	23,108	1,207	24,315	974	5,027	30,316
(対前年度比)	—	100.4%		105.6%			
1. 公共事業費	6,860	6,966	1,200	8,166	922	2,371	11,459
(対前年度比)	—	101.5%		119.0%			
一般公共事業費	6,667	6,770	1,200	7,970	52	2,035	10,057
(対前年度比)	—	101.5%		119.5%			
災害復旧等事業費	193	196	0	196	870	336	1,402
(対前年度比)	—	101.7%		101.7%			
2. 非公共事業費	16,161	16,142	7	16,149	52	2,656	18,857
(対前年度比)	—	99.9%		99.9%			

(注) 1. 金額は関係ベース。

2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。

3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

公共事業費一覧

区 分	30 年 度 予 算 額	31 年 度 概 算 決 定 額			30 年 度 補 正 追 加 額		C + D + E
		「臨時・特別の措置」 を含まない A	「臨時・特別の措置」 B	概算決定額 C = A + B	1 次 補 正 D	2 次 補 正 E	
	億円	億円	億円	億円	億円	億円	億円
農業農村整備 (対前年度比)	3,211	3,260 101.5%	511	3,771 117.5%	-	1,413	5,184
林 野 公 共 (対前年度比)	1,800	1,827 101.5%	441	2,269 126.0%	52	325	2,646
治 山 (対前年度比)	597	606 101.5%	250	856 143.3%	52	143	1,051
森 林 整 備 (対前年度比)	1,203	1,221 101.5%	192	1,413 117.4%	-	182	1,595
水産基盤整備 (対前年度比)	700	710 101.5%	190	900 128.6%	-	239	1,139
海 岸 (対前年度比)	40	45 112.9%	8	53 133.0%	-	8	61
農山漁村地域 整備交付金 (対前年度比)	917	927 101.2%	50	977 106.6%	-	50	1,027
一般公共事業費計 (対前年度比)	6,667	6,770 101.5%	1,200	7,970 119.5%	52	2,035	10,057
災 害 復 旧 等 (対前年度比)	193	196 101.7%	-	196 101.7%	870	336	1,402
公 共 事 業 費 計 (対前年度比)	6,860	6,966 101.5%	1,200	8,166 119.0%	922	2,371	11,459

- 注) 1. 金額は関係ベース。
2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。
4. 農業農村整備事業関係予算については、
・ 31年度概算決定額(臨時・特別の措置を除く)として4,418億円(農業農村整備事業3,260億円、農山漁村地域整備交付金のうち農業農村整備分650億円、農地耕作条件改善事業(非公共)300億円、農業水路等長寿命化・防災減災事業(非公共)208億円の合計)
・ 31年度概算決定額(臨時・特別の措置)として546億円(農業農村整備事業511億円、農山漁村地域整備交付金のうち農業農村整備分35億円の合計)
・ 30年度補正額として1,488億円(農業農村整備事業1,413億円、農山漁村地域整備交付金のうち農業農村整備分35億円及び中山間地域所得向上支援事業(非公共)のうち基盤整備分40億円の合計)を措置しており、その総合計は6,451億円(臨時・特別の措置を除くと5,905億円)。

農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

(単位:億円)

	30年度 予算額	31年度 概算決定額			30年度 補正追加額 (1次・2次) D	合計 C+D
		「臨時・特別の 措置」を除く A	「臨時・特別 の措置」 B	概算決定額 C=A+B		
農業農村整備事業(公共)	3,211	3,260 (101.5%)	511	3,771 (117.5%)	1,413	5,184 (161.5%)
農業農村整備関連事業(非公共)	499	508 (101.8%)	-	508 (101.8%)	40	548 (109.9%)
〔 農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 〕						
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	639	650 (101.7%)	35	685 (107.1%)	35	720 (112.6%)
計	4,348	4,418 (101.6%)	546	4,963 (114.1%)	1,488	6,451 (148.4%)
				「臨時・特別の措置」を除く		5,905 (135.8%)
参						
その他関連(公共)	115	119	5	124 (108.0%)	592	716 (625.0%)
〔 海岸事業(農地海岸) 災害復旧事業等(農地・農業用施設等) 〕	33	36	5	41	5	46
	82	83	-	83	587	670
考						
その他関連(非公共)	64	76	-	76 (118.8%)	-	76 (118.8%)
〔 農家負担金軽減支援対策事業 受託工事等実施費 〕						
参考を含む合計	4,526	4,612 (101.9%)	551	5,163 (114.1%)	2,080	7,242 (160.0%)

- (注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。
 2 下段()書きは平成30年度予算額との比率である。
 3 平成30年度補正額はTPP等関連対策及び重要インフラの緊急点検等を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策が対象。
 4 農業農村整備関連事業(非公共)における平成30年度補正額は、中山間地域所得向上支援事業の基盤整備分である。
 5 その他関連(非公共)については、農業農村整備事業を実施する上で関連する予算を計上。
 農家負担金軽減支援対策事業:土地改良事業等の農家負担金の軽減を図るための無利子貸付等の事業。
 受託工事等実施費:国営土地改良事業による工事に関連し、共同事業として工事を実施するための経費等。

農業農村整備事業関係予算の推移



注) 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

平成30年度 第2回 支部事務担当者会議

日 時：平成30年12月6日(木) 午後3時30分～

場 所：あべのトラス 6階 会議室

議 題

- (1) 役員の改選について
- (2) 表彰者の推進について
 - ・大阪府知事感謝状
 - ・第58回大阪府土地改良功労者表彰
- (3) 第41回全国土地改良大会（宮城大会）の精算について
- (4) 農空間保全活動支援事業について
- (5) 研修会等今後の予定について
- (6) 支部事務に関するお願い
- (7) その他

平成30年度第2回支部事務担当者会議が、8支部の事務担当者が出席して開催されました。本会松下総務・換地課長から、役員の任期満了に伴う次期役員候補者の選任及び銓衡委員候補者の推薦、表彰者の推薦、第41回全国土地改良大会の精算等について説明、続いて今後の行事予定並びに研修会等の案内と併せて多数参加に向けての協力の依頼を行いました。

支部協議会だより

三島支部

平成30年度第1回支部協議会を、平成30年9月26日(水)に、神安土地改良区において開催し、平成29年度収支決算が承認されました。本会からは、青山常務理事が出席しました。

平成30年11月21日(水)～22日(木)に、支部の管外研修会として愛知県「入鹿用水土地改良区」の現地視察を行いました。この研修には、本会の青山常務理事が参加しました。

平成30年12月4日(火)に、神安土地改良区において「土地改良法改正に伴う勉強会および定款等変更について」が開催されました。本会からは、岡崎専門員が講師として出席しました。

豊能支部

支部協議会を、平成30年6月15日(金)に、池田市中央公民館において開催しました。議案第1号 参与の委嘱について、議案第2号 会費の徴収について、議案3号 支部の運営についてが承認されました。本会からは、青山常務理事が出席しました。

北河内支部

支部協議会を、平成 30 年 6 月 6 日(水)に、枚方市市民会館において開催しました。

平成 29 年度の報告と、議案 1 号 平成 30 年度事業計画(案)について、議案 2 号 平成 30 年度収入支出予算(案)について、議案 3 号 大阪府土地改良事業団体連合会会長表彰についてが承認されました。本会からは、小谷専務理事が出席しました。

平成 30 年 12 月 3 日(月)に、枚方市御殿山土地改良区において、「体験田産米の試食会」が開催されました。本会からは、小谷専務理事、玉田主事が出席しました。

中河内支部

大和川分水築留掛かりの世界かんがい施設遺産登録の祝賀会を平成 30 年 12 月 17 日(月)に柏原市民文化会館において開催しました。本会からは、若林会長、小谷専務理事、青山常務理事が出席しました。

南河内支部

支部の研修会として、平成 30 年 11 月 22 日(木)に、滋賀県の日野川流域土地改良区、びわこ揚水土地改良区等の現地視察を行いました。この研修には、本会の小谷専務理事、青山常務理事が参加しました。

泉北支部

光明池土地改良区創立 90 周年記念式典・祝賀会が、平成 30 年 5 月 22 日(火)に、ホテル・アゴーラリージェンシー堺において開催されました。本会からは、小谷専務理事、青山常務理事が出席しました。

支部の研修会として、平成 30 年 11 月 30 日(金)に、東大阪市拾六個土地改良区の現地視察を行いました。この研修には、本会の小谷専務理事、青山常務理事が参加しました。

泉南支部

泉佐野市土地改良事業団体連絡協議会の平成 30 年度 管外視察研修会として、平成 30 年 11 月 2 日(金)に、三重県県内の現地視察を行いました。この研修には、本会の小谷専務理事、青山常務理事が参加しました。

支部の研修会として、平成 30 年 11 月 16 日(金)に、兵庫県南あわじ市内の現地研修を行いました。この研修には、本会の小谷専務理事、青山常務理事が参加しました。

泉佐野市用水運営協議会の管外研修として、埼玉県の葛西用水路土地改良区へ現地研修が行われました。この研修には、本会の小谷専務理事が参加しました。

大阪支部

平成 30 年 12 月 21 日(金)に、大阪市土地改良協会の役員会が大阪市内で開催されました。本会からは、青山常務理事が出席しました。

土地改良相談

当連合会では、会員の方々が行う土地改良事業(施設の管理も含む)や土地改良区運営に関する相談をお受けいたしています。

窓口開設日：毎月 5 日・20 日（休日の場合はそれぞれ開設日以降の直近の平日）

“よくある相談事例”

- ・土地改良事業に関する苦情・紛争についての相談
- ・土地改良事業計画の作成や、工事実施に関する相談
- ・事業主体の組織運営上に関する相談
- ・土地改良施設の管理に関する相談
- ・農業水利に関する相談
- ・土地改良法令に関する相談
- ・換地処分、その他農用地集団化に関する相談
- ・土地改良区の定款・規約・諸規程に関する相談
- ・会計処理に関する相談

尚、急を要するご相談の場合は、随時お受けいたしておりますので、お気軽にご相談下さい。

今後の行事予定

1 月	・ 21 日 新春互礼会（シティプラザ大阪） ・ 24 日 農林水産関係団体人権問題研修会（於：JA 共済連大阪ビル 3 階）
2 月	・ 8 日 第 3 回 監事会 ・ 14 日 第 3 回 理事会
3 月	・ 19 日 大阪府水土里情報システム運用協議会 ・ 19 日 第 61 回 大阪府土地改良事業団体連合会 通常総会 ・ 26 日 第 61 回 全国土地改良事業団体連合会 通常総会

水土里ネット大阪 事務所案内

〒547-0022

大阪市平野区瓜破東六丁目1番51号（瓜破会館）

TEL：06-6707-1100

FAX：06-6707-1102



地下鉄：大阪メトロ谷町線 「喜連瓜破」 駅より徒歩 20 分



水・土・人を結び、
地域とともに歩みます



大阪府土地改良事業団体連合会